

平成 30 年 7 月 25 日
港湾局 計画課

我が国港湾における 2017 年のコンテナ取扱貨物量(速報値)

～外貿、内貿、合計いずれもコンテナ取扱貨物量が過去最高値を更新～

我が国港湾における 2017 年のコンテナ取扱貨物量は、国際コンテナ戦略港湾政策の推進や内航 RORO 航路の新規就航等を受け、外貿 1,839 万個(前年比+4.7%)、内貿 440 万個(前年比+6.3%)といずれも過去最高となり、合計では 2,279 万個(前年比+5.0%)と、2014 年の 2,172 万個を抜き、過去最高値を更新しました。

【概要】

- 我が国港湾における 2017 年のコンテナ取扱貨物量(外貿、内貿*1 の合計)は、2,279 万個*2(前年比+5.0%)となり、2014 年の 2,172 万個を抜き、過去最高値を更新しました。
- 外貿コンテナ取扱貨物量は、1,839 万個(前年比+4.7%)と全体的に堅調に推移しました。
- 内貿コンテナ取扱貨物量は、440 万個(前年比+6.3%)と昨年に引き続き、大きな伸びを示しました。また、国際フィーダー取扱貨物量*3も堅調に伸びてきており、これは、国際コンテナ戦略港湾への集貨や国際フィーダー航路網の拡大など、国際コンテナ戦略港湾政策の成果が現れてきているものと考えられます。また、新規の内航 RORO 航路の就航についても、その一躍を担ったものと考えられます。
- 取扱量上位港では内貿コンテナ取扱貨物量の増加により、横浜港 3→2 位、北九州港 9→8 位、仙台塩釜港 12→11 位 等の順位変動がありました。

【調査方法、集計内容】

- 全国の港湾管理者より提供いただいた 2017 年(1 月～12 月)のコンテナ取扱貨物量(速報値)を国土交通省で集計しました。貨物量は速報値であり今後変更する可能性があります。単位は個(20 フィート換算)です。
- 内訳として、外貿コンテナ取扱貨物量、内貿コンテナ取扱貨物量および国際フィーダーコンテナ取扱貨物量を集計しました。内貿コンテナ取扱貨物量は、国内の 2 地点間を輸送されるコンテナ取扱貨物量です。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は、国際コンテナ戦略港湾などで外貿コンテナ船に積み替えられて輸出入されるコンテナ取扱貨物量であり、平成 25 年より集計、公表しているものです。

* 1: 内貿コンテナ取扱貨物量には、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量も含む。

* 2: 長さ 20 フィートのコンテナ 1 本を 1 個としてカウント(長さ 40 フィートのコンテナ 1 本を 2 個としてカウント)。

TEU(Twenty-foot Equivalent Unit)とも言う。

* 3: 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は港湾管理者に可能な限り調査・提供いただいた。全量を把握できていないため参考値とした。

【添付資料】

港湾別のコンテナ取扱貨物量(2017 年速報値)、コンテナ取扱貨物量上位 20 港ランキング
(参考)港湾別国際フィーダーコンテナ取扱貨物量一覧、我が国のコンテナ取扱貨物量推移

【問い合わせ先】

あいき さかい あしみね
港湾局 計画課 企画室 相木、坂井、安次嶺

TEL: 03-5253-8111(内線:46825、46343) / TEL 03-5253-8670(直通)

FAX: 03-5253-1650